

令和4年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画

作成者: 園長 上原 恵子

那覇市立開南こども園

令和4年3月10日現在

教育及び保育方針	<ul style="list-style-type: none"> ○教育・保育目標の具現化を図り、目標達成に向けこども園職員が連携しながら実現に努める。 ○こども園の職員が共通理解を図り、和と協働を大切にしなが一体となって園運営を推進する。 ○様々な研修や実践研究に全職員が積極的に参画し、資質向上に努める。 ○教育効果を高めるため、家庭・地域・関係機関との連携を図る。 ○年間計画のもとに、教育環境の充実に努める。 ○小学校・近隣の保育園との連携を図り、こ小連携の推進に努める。 	園の教育及び保育目標	<p>気づき考え工夫し、仲間とともに未来を創る子</p> <p>○よく遊び、気づき考え行動する子 ○思いやりのある子 ○明るく元気な子</p>
		園児像	
		こども園像	<p>○一人一人が大切にされ、園児が生き生きと元気に生活することも園 ○幼児期にふさわしい環境が用意され、知的好奇心を育み、自己発揮しながら楽しく遊べることも園○保護者や地域から信頼され、共に子どもを育てることも園</p>
<p>●1号認定:教育時間→8:15～14:00 *一時預り14:00～18:30</p> <p>●2号認定:教育及び保育時間→7:30～18:30 *延長保育時間→18:30～19:30</p>		主な行事	<p>・入園・進級式・誕生会・身体測定・健康診断・個人面談・園外保育・交通安全指導・保育参観・七夕まつり・学級懇談会・運動会・敬老お招き会・1学期終業式・秋の遠足・2学期始業式・生活発表会・お楽しみ会 豆まき・交流給食会・お別れ遠足・ひなまつり・修了式(4歳)・卒園式</p>

家庭との連携	小学校との連携	地域との連携	子どもの教育・保育目標(学年の重点)
<ul style="list-style-type: none"> ○家庭状況把握(児童票・個人面談) ○情報提供(入園のおしり、LG-WAN・HP、うさぶさくら、掲示板への掲示等) ○教育・保育 説明(園だより・クラスだより・各種たより・写真掲示) ○情報共有(保育参観、保育参加、学級懇談会、個人面談) ○ボランティア活動(絵本の読み聞かせ・親子作業等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○アプローチカリキュラム スタートカリキュラム ○園児と児童の交流 ○保育教諭と小学校教諭の交流 ○こども園と小学校連携計画 ○職員会議、校務会、職朝への参加、連絡 ○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、要録から育ちの情報を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域人材の活用 ○地域行事への参加 ○地域施設の活用 ○こども園と近隣保育園との連携 	<p>4歳児: 先生や友達と一緒に園生活の楽しさを感じながら活動に取り組む</p> <p>5歳児: 集団生活の中で自分の力を発揮しながら遊びや生活に取組み充実感を味わう</p> <p>本年度の重点的目標</p> <p>1 幼児の実態に即した指導計画の作成、保育の展開、指導の課程の評価・改善を通じた保育の質の向上</p> <p>2 共通課題解決に向け、教職員の強みを生かした協力体制づくり</p> <p>3 地域の人材、場の活用を生かした交流・体験活動の充実</p>

健康支援	環境、衛生・安全管理	食育の推進
<ul style="list-style-type: none"> ○健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ○年2回の嘱託医による定期的な健康診断(内科・歯科) ○諸検査(尿・びょう虫) ○健康観察(園児の心身の状態、異常が認められた時の適切な対応) ○学校保健計画 ○個別的な配慮を要する園児への対応 ○感染症等への取り組み、予防 ○医者の意見書、参園届(保護者記入) 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内外の設備、用具等の衛生管理(清掃及び消毒)(採光、照明等) ○施設内外の設備、用具等の安全管理(安全点検表) ○園児及び職員の清潔保持(衛生指導) ○感染症の集団発生予防と対応、保護者への情報発信(玄関前の表示) ○学校安全計画(毎月避難訓練) ○危機等発生時対処要領と危機管理体制 ○交通安全指導計画 	<ul style="list-style-type: none"> ○食育指導計画 ○個別対応(食物アレルギー等) ○給食当番活動 ○給食参観 ○食育についての掲示(毎日の給食献立を写真で掲示) ○菜園作りの実施 ○クッキングの実施(カラーパーティ等)

養 護	年齢	3歳児	4歳児	5歳児	特色ある教育と保育	特別支援教育	育みたい資質・能力
	生命の保持		○運動と休息のバランスと調和を図る。	○健康・安全への意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○教育・保育要領、地域や幼児の実態に基づく教育・保育課程の編成 ○幼児の主体的な活動を促す環境構成 ○日常的な小学校との連携、接続 	○特別支援教育方針	○知識・技能の基礎
	情緒の安定		○自己肯定感の確立と他者の受容	○心身の調和と安定により自信をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域の保育園との連携 ○特別支援教育の充実 ○園内研修の充実 	○園内の支援体制(園内支援委員会計画)	○思考力・判断力・表現力等の基礎

ねらい及び内容

教育及び保育	領域	教育及び保育(教育課程に係る教育時間含む)		幼保連携型認定こども園教育・保育要領		学校評価(自己評価・関係者評価)	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
	健康	○戸外でみんなと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○自分たちで生活を進める楽しさを知る。	○いろいろな運動遊びに取り組み、体を十分動かして遊ぶ。 ○見通しをもって自分たちの生活をつくっていくこととする。	① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する。	① 幼保連携型認定こども園の生活を楽しく、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ② 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	○学校評価年間計画 ○学校関係者評価委員会による学校評価	健康な心と体
	人間関係	○友達と一緒に遊びや仕事を楽しみながらしようとする気持ちをもつ。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき守ろうとする。	○共通の目的に向かって、自分の力を発揮しようとして、みんなで力を合わせてやり遂げた満足感を味わう。	① 幼保連携型認定こども園の生活を楽しく、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ② 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	① 幼保連携型認定こども園の生活を楽しく、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ② 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	○自己評価の実施(教育・保育について) ○保護者アンケート	自立心 協同性
	環境	○自然の美しさにふれて感動したり、自然物を使って遊ぶことを楽しんだりする。 ○遊びの中で、数量や図形や文字に関心をもつ。	○自然の変化、美しさ、不思議さに気づき友達と伝え合ったり、調べたり、遊びに取り入れれたりする。 ○文字や数字を使って伝える楽しさを味わう。	① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ② 身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ② 身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	○学校評価の公表	社会生活との関わり 思考力の芽生え
	言葉	○友達に自分の思いや気持ちを伝えようとして、相手にも思いがあることを知ったりする。	○人の話を注意して聞き、自分の思いや考えを相手にわかるように伝えようとする。	① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ② 人と言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。	① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ② 人と言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。	○園内研修計画(月1回) ○園外研修計画	自然との関わり・生命尊重
	表現	○自分のイメージに沿って必要な材料を選んだり、方法を考えたりしながら実現しようとする。	○様々な体験や感動を様々な方法で伸び伸びと表現し、伝えようとして感動を共有したりする。	① いろいろなもの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	① いろいろなもの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	○学力向上推進計画 ○行政主催の研修参加 ○自主研修の推進	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現